

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 こばとっこくらぶ			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼稚園やこども園が同じ建物内にあり、特に在籍する園児の場合は職員の人の環境も含めて親しみを持って通所することができている。また、幼稚園やこども園の職員と連携をとりやすいので、その時その時の子どもたちの躊躇に対してすぐに支援に取り込むことが可能である。	普段から、学園内の職員同士が些細な事でも話しやすい、風通しの良い職場づくりに努めている。定期的に幼稚園・こども園職員とこばとっこくらぶで連携会議を行い、子ども達の最近の様子、できるようになっていること、躊躇がある部分について密に話し合うことができている。	引き続き、保護者の方としっかりと情報共有を行っていきます。そのうえで、子ども達に寄り添い、不安な気持ちを可能な限り取り除きながらその子らしさを大切に支援していきます。
2	NCプログラム(指導プログラム)をもとに個々の育ちに応じて、それぞれの子どもが興味あることや好きな物を課題の中に取り入れるなど柔軟な手作り教材等を使って、遊びを通して楽しみながら子ども達の力を伸ばしていける。	支援の内容(課題)が固定化しないように特に力を入れており、職員同士が話し合いを重ね、一人ひとりの子ども達が遊びながら楽しんで取り組めるワークやカード類、そして実際の体験を通して獲得する学びの中で、多角的に一人ひとりに合う方法で支援を行っている。	子ども達が楽しんで力を伸ばしていけるよう教材準備に努め、引き続き偏りのないように支援を工夫していきます。
3	保護者の方と、幼稚園・こども園での実際の子ども達の姿を共有しながら、悩みや困っている事に対して丁寧に、そして迅速に対応できている。さらに、その内容を必要に応じて在籍する幼稚園職員やこども園職員とすぐに連携を取ることができている。	子ども達の在籍する幼稚園・こども園で、子どもが難しさ・やりづらさを感じている場面があれば、実際の場面を主任・担任などと共有し、環境改善できる箇所やその子に合う方法などを連携して検討することができている。	目前の躊躇のみならず、就学などの将来を見据えた支援をしていけるよう引き続き支援していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場を設けること。	現在、通所している子ども達が全員同じ幼稚園・こども園に在籍している。個人情報保護の観点から開催方法を模索中である。	同じ悩みを持つ保護者同士が、悩み・不安などを気軽に話せる場、情報収集できる場を開催できるよう調整したいと思います。
2			
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援 こばとっこくらぶ						公表日 2025年12月19日		
								利用児童数	20人 (19家庭)	回収数 19
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0	・「今日こはとっこ！」と楽しみしているぐらいとても素敵な場所です。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	1	・いろいろな先生と関わることができて本人もとても楽しんでいます。	契約時に説明し、契約書にも明記しているが、引き続き丁寧に伝えていく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0	・子どもが好きなものだったり、いろんなことをあって学ばせてくれているのでとても素敵な環境です。			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	・子ども本人のことをとても理解してくださいって対応して下さっています！・私の悩みも本人の特性を知った上で的外れな事を言わず適切にアドバイスしてくれて助かります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	1	・とても合っていると思います！本人に合わせて進めてくださったり、もう一度挑戦してくださったり、してくださっています！・私が希望することを解決できる様プログラムされていて安心して通わせることができます。	遊び一つ一つにねらいや育つて欲しい部分にアプローチできるように、職員同士の話し合いを経て取り込んでいるが、その遊びすることでどの部分を伸ばしたいのかという保護者に対しての説明が足りていないところがあったのかもしれません。引き続き保護者の方に分かりやすくしっかりと伝えていくようにしていく。		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0	・とても細かく分析してくださって、計画を作成させてくださいました。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	1	・いろんなことをして支援してくださっていると思います！身体を使ったり新しいことをしたり。	この部分は職員が一番力を入れて準備している所なので、しっかり保護者の方に説明し伝えていくようにする。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	18	1	0	0	・幼稚園のイベント等を考慮して活動していただいている。			
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0	・とても丁寧に説明してくださりました。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0	・1つ1つ丁寧に支援内容を説明してくださいました。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	1	5		研修会などは企画できていないが、ご家族の方が悩みを抱えておられるときには別途時間を作り、話を伺う場を設けていく。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0	・いつも細かく子どもの様子を教えてくださるのでとても安心しています。・ビデオで状況を見せてくれて、何をしているのか分かったし、本人が口で説明できないので内容書いているので安心。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	0	聞きたいことなどを聞くと、丁寧に教えてくださったり、親身に寄り添ってくださいます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0	・とても安心しています。一緒に考えてくださったり話してくださったり、話を聞いてくださったり。			

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	3	7		現在、保護者同士の交流の場やきょうだいへの支援は行えていない。今後検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	1	・とても適切に対応してくださっています。	契約時に説明し、契約書にも明記しているが、引き続き丁寧に伝えていく。相談などある時にはその場で日時を決定し対応するなど、迅速な対応に努めている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0	・サービス提供記録でたくさんの情報をいただけています。 ・いつも「今日はこうでした」と教えて下さっているので安心しています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	1	4	・今はこれがでて、これがまだでていないので、など、教えてくださっています。	今回が初めての保護者評価・自己評価だったので集計後にきちんと公表していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	1	0		間違いのないよう個人情報記載のある物の対応をする時には、職員でダブルチェックするなど引き続き、取り扱いに気をつけていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	2		ホームページにて公表しているが、周知が足りないと感じた。今後、説明をしっかり行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	0	2		学園全体での訓練を行っており契約書にも記載しているが、その旨保護者の方に説明が足りていなかったと感じた。今後は参加した利用者の方のみならず情報発信を行っていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	1		契約時の説明では、体調の急変や緊急事態が生じたときの話をしていたので、怪我など含む事故の時にについての対応も加えて説明していくこととする。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	・こどもは先生方が大好きで週2回のこばとっこをとても楽しみにしています。先生方のあたたかい笑顔や言葉に心を許して信頼し、安心して過ごしていることを感じます。積み重ねていく中で、できることも増え、成長させてもらい自信が持てることも増えてきて、感謝ばかりです。 ・いつも迎え入れてくださってありがとうございます。とても安心して通っています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	・支援の日を把握しており、「明日こばとっこねー」といつも楽しみにしています。 ・出来る事が自分でも増えているのが分かっているようで、「こばとっこ」とよく口にしています。 ・いつも楽しませてくださってありがとうございます。「今日こばとっこ」と言って楽しんで通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	・1年前は単語が数個で生活していたのですが、今はおかげまで少しずつ三語文でお話出来ます。とても感謝しています。 ・親身になって支援して下さり、親子ともども支えていただいて救われており、本当に心から感謝しています。来年度は小学生なので3月で終了するのが残念です。こばとっこの小学生バージョンをぜひ作って欲しいです。 ・とても満足しています。一年前に比べて出来る事がたくさん増えています。 ・とても感謝しています。いつも子どものためにいろいろと考えてくださってありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。 ・こどもも親もこばとっこくらぶが大好きで安心してお願いさせてもらっています。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 こばとっこくらぶ	公表日	2025年12月19日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・パーテーションを活用して、一人ひとりが落ち着いた環境の中で支援をすることができている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・スタッフの欠勤がある場合でも対応できるよう適切に配置されている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・完全なバリアフリーではないが、事業所内にはフラットで常に危険度を最小限にしている。 ・子どもの視界に入る所はすぐに使わない物は置かず必要最低限のものに整理して設置することで気が散らないようにしている。 ・シューズ置き場や椅子を置いて座る場所を、写真や印を使って分かりやすくしてある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・定期的な換気をしている。 ・目的に合わせて自由遊びの場、机上支援(まなび)の場、運動(サーキット)の場を分けて設けているので、集中しやすい、構造化された空間での療育となっている。 ・いつもきれいに保たれていて子ども達にとっても職員にとっても過ごしやすい環境である。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・各部屋や仕切りを使ったスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効果的な活動が実施できるようになっている。 ・支援スペース、自由遊びの部屋と分けてある。
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・保護者や子どものニーズをしっかりと把握して継続して支援が行えるよう計画を立案、職員全員のものとなるよう、打ち合わせや振り返りができる
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	・今回初めて保護者からの評価を頂くので以後しっかりと改善に努めたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・NCプログラム(指導プログラム)のアセスメントを用いて、ケース会議を行い、スタッフ間での共有を行っている。業務上、参加できなかったスタッフには必ず書面で共有している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・外部評価を実施できていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・もっと内部研修の実施や外部研修への参加を行い、専門職としての知識を深めていく必要がある。
業務改善	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・偏りのない支援となるよう全職員で話をしっかりとしている。 ・ホームページ上で支援プログラムを公表している。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・常に、保護者、スタッフとともにアセスメントを行い、個別の支援計画に基づいた療育をしている。保護者だけでなくスタッフ全員が療育プログラムを共有できるように一覧表にしている。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・活動プログラムが固定化しないように、スタッフ全員で話し合い共通理解のもと、一人ひとり個別にスマールステップで支援を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・NCプログラムをもとに、アセスメントに基づいた支援計画を作成、指導プログラム・活用マニュアルに沿った支援をスタッフ全員で実施している。 ・記録、ファイリングされている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		・今回振り返ってみて、できている子とできていないと感じる子がいたので改善していきたい。 ハイランドテスト、ヴァインランド適応行動尺度など、日常生活で必要なスキル、適応能力など相対的に評価できるアセスメントを行う必要はある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		地域支援、連携がまだ行えていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・幼稚園やこども園の先生達と課題を共有する中で活動プログラムを考え事ができている。 ・職員同士で相談したり、アドバイスをもらいながら活動プログラムがより良いものになるようにしている。 ・子ども達に常に楽しんでもらえるように工夫している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・状況に応じて、個別支援、グループでのゲーム遊びなどで支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・一日のスケジュールを確認し合っている。	・基本できているが、日によって打ち合わせが充分にできていないことがある。しかし、その場で職員同士が密に声を掛け合い連携をしっかりとできるよう努めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・職員間で話がしやすく、子どもの少しの変化や成長などすぐに共有している。 ・方法や手段について常に職員同士の話ができている。 ・伝え落ちのないように気づいた点などは記録して共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・誰が見てもわかる様な記録を心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		・会議(電話での連携)が突然なので、事前に日時が分かっていれば、よりしっかりと対応できると思う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・園の先生と共に情報共有が行えている。	・3月に、開所後初めて卒園(就学)する子がする子がいるので、そこに向けてしっかりと情報共有に努めていきたい。
		(28~30は、センターのみ回答)				

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・幼稚園、こども園に併設して設置された施設であるため、クラスや他の子どもとのかかわりなど共有でき、様子と一緒にしっかり見守ることができる。	・地域とのつながりは持てていない。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・支援計画の作成、見直しを定期的に保護者とともにやって課題について共通理解を図っている。実際の支援の様子を画像とともに伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		・保護者同士で集まり、研修できる場があれば良い。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・口頭だけでなく必ず書面も併せて説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・保護者と話をして確認。支援の際には、具体的な目標を、発達段階に応じて児童に伝えている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・対面にて必ず同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		・きょうだい同士で交流する機会がなく、今後計画していきたい。 ・今後の課題である。現在、全員併設する幼稚園・こども園に在籍する園児であることから、プライバシー保護の点でも考えていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・幼稚園やこども園の職員とともに対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	4	・活動についてはホームページで発信しているが、連絡体制は幼稚園・こども園で導入しているれんらくアプリを活用している。	・改善できるところがあると思う。 ・行事予定、連絡などの情報は個々に発信しているがSNS等の活用はできていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・取り扱いに対する対応例をもとに研修を実施、スタッフ全員が意識を高めている。 ・確認を何度もしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・今後地域との交流を図っていくよう努めたい。 ・こばとっこくらぶ独自の行事などは実施できていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・マニュアルを作成し、研修を定期的に行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・幼稚園・こども園の行事とともに、定期的に避難訓練を行っている。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・医師の指示書に基づく対応を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・こばとっこくらぶでは、食べ物を取り扱っていないが、併設する幼稚園・こども園では取り扱いがあるため、対応についてはスタッフ全員共通理解をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・ヒヤリハット発生時には報告書を作成し、情報を共有している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・職員で話し合って安全確認している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・研修及び委員会の中で、必要に応じて行う場合の対応法などは職員で話し合っている。	